

話 題

核データ・炉物理合同特別会合の報告

日本原子力学会の昭和55年秋の分科会(9月17日~19日,東北学院大学工学部)において、「シグマ」・「炉物理研究」両特別専門委員会の主催で下記のように特別会合が開催されました。

(敬称略)

昭和55年9月18日(11:50~14:30)

(議題) 高速中性子スペクトル(実験解析と核データ)

座長:小山謹二(原研)

1. 角度依存中性子スペクトルの測定と解析の現状(20分) 前川 洋(原研)
2. 微分断面積の必要性と輸送計算(30分) 高橋亮人(阪大工)
3. 高速中性子スペクトルに対する非弾性散乱の影響(20分) 山野直樹(住友原工)
4. 2重微分断面積の測定(20分) 馬場 護(東北大工)
5. 核データの立場から(20分) 五十嵐信一, 菊池康之(原研)
6. 討論(30分)
7. JENDL-3 計画および事務局報告(20分) 田中茂也(原研)

この特別会合は、最近では定着して原子力学会の度毎に行われており、本誌でも殆んど毎回、講演者にその時の講演内容と同じものを執筆していただいております。今回も殆んどの方から原稿をいただきましたので、ここに掲載して特別会合の報告といたします。なお、殆んどの図は、当日配布された資料にあったものをそのまま利用しましたので、小さかったり不鮮明だったりして見にくく、また caption も小さくて殆んど見えないものもあります。また、不統一な点が多々ありますが御容赦下さい。

(事務局編集係)